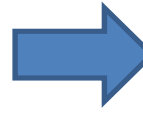


山形市観光基本計画(平成30年度～平成39年度)【概要版】

【現 状】
 ・東日本大震災とそれに端を発した福島第一原子力発電所の事故、蔵王山への火口周辺警報発表等による観光客入込数の減少
 ・国全体が訪日外国人(インバウンド)の増加が続く中であって東北地方への誘客の伸び悩み
 ・多様化する旅行者の観光情報収集手段に対する効果的なPRの不足



【課 題】
 (1) データに基づいた戦略の策定・共有と緊密に連携した事業の実施
 (2) 旅行者が必要とする情報の効果的な発信
 (3) 観光施設や受入体制の整備
 (4) 広域的な観光地連携の取り組み
 (5) インバウンド(訪日外国人)の取り込み
 (6) 新たな観光需要に対する取り組み

計 画 概 要

計画期間
平成30年度～平成39年度
※社会情勢の大幅な変化や山形市発展計画の見直しに伴う政策の変更等により必要が生じた場合は、計画期間内においても適宜見直し
成果目標
・観光消費額 330億円／年
・観光客入込数 3,523,000人／年
個別参考目標
・蔵王エリア入込数 1,400,000人
・山寺エリア入込数 920,000人
・市街地エリア入込数 1,210,000人
・祭り・イベント入込数 2,700,000人

※山形版DMOとは
 山形市、上市市及び天童市の観光関係者によるDMOで、法人機能を役割分担しながら推進する点が特色となっている。
 行政や観光関係機関が主体となる「山形・上山・天童三市連携観光地域づくり推進協議会」が観光戦略の策定、地域の合意形成や人材育成等の非営利事業を、民間が100%出資して設立した「おもてなし山形株式会社」が現地旅行商品の販売等による観光戦略の実働部隊として営利事業を行う。

観光基本方針と施策	主な事業内容
<p>1. 「山形の魅力」の戦略的な発信 「日本一の観光案内」※を推進するため、本市の魅力溢れる観光資源を国内外に向けて戦略的に発信することで、本市の知名度向上及び誘客促進を目指します。</p> <p>《施策》 (1) 観光客のニーズに対応した情報の発信 (2) 山形ブランドの認知度向上に向けた情報発信 (3) 映像資源の積極的な提供による魅力の発信</p> <p>※「日本一の観光案内」とは 旅行者をはじめ山形市の様々な情報を必要とする方が情報をワンストップで円滑に入手できる仕組みづくりで、今後整備を目指す「日本一の観光案内所」においては、山形市を訪問する方が求める各種の情報を対面できめ細かく案内できる観光拠点づくりを、また市民一人ひとりは、旅行者を温かく迎えておもてなしの心で接することができる受入体制づくりを目指すものです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「日本一の観光案内所」の設置 ○観光ボランティアガイドの育成 ○「山形検定」の実施 ○観光案内板、誘導サインの整備促進 ○新やまがたガイドマップの作成 ○山形版DMOによる観光情報の発信とデータの収集を一元的に行う情報システムの構築・運用 ○多様な主体によるWi-Fiの整備推進 ○食文化をはじめとした地域資源「山形のお宝」の魅力と認知度の向上推進 ○ふるさと納税の返礼品に市内旅行商品を活用することによる認知度向上と誘客促進 ○陶芸、こけし、鋳物等産業体験観光の情報発信 ○首都圏を中心とした物産展の開催支援による情報発信 ○「山形まるごと市」の開催支援 ○山形フィルムコミッションの運営支援
<p>2. 観光地の魅力向上と受入体制の整備 「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりを推進するために、DMOを中心として、地域との連携を深めて魅力向上や観光資源の掘り起こしを行い、観光振興を図ります。</p> <p>《施策》 (1) 観光地の魅力と利便性向上に向けた基盤整備 (2) 祭り、イベントの開催・支援による誘客の推進 (3) 食文化活用による誘客推進 (4) 観光地と街なか周遊を組み合わせた観光モデルルートの作成 (5) 着地型旅行商品(現地旅行プラン)の造成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○休憩機能、情報発信機能及び地域特産品販売等の観光拠点となる道の駅の整備 ○蔵王・山寺間の通年観光ルートの開拓 ○温泉を活用した観光ルートの情報提供(黒沢温泉その他日帰り温泉施設等) ○複数の登山道を組み合わせたモデルルートの形勢及び有効活用 ○東部地区(高瀬地区、東沢地区及び滝山地区)の観光地域環境の整備 ○西部地区(本沢地区、西山形地区、村木沢地区及び大曾根地区)の観光地域環境の整備 ○山形まなび館、山形まるごと館紅の蔵の活用 ○山形城の復原及び国の史跡にふさわしい歴史・文化を活かした都市公園の整備 ○やまがた芸妓、やまがた舞子の育成及び活動支援 ○蔵王通年観光推進事業の支援 ○クラレ蔵王ジャンツェ(蔵王ジャンプ台)の観光資源としての活用 ○山寺通年観光推進事業の支援 ○観光施設等のバリアフリー化及び案内表示等のユニバーサルデザイン化の推進 ○山形県バリアフリー観光推進協議会等関係機関との連携によるバリアフリー観光の推進 ○観光関係者による緊急時対応マニュアルの整備推進 ○観光施設等へのハザードマップの配布等による危険箇所や避難場所の周知 ○祭り・イベントへの支援(観桜会、山形花笠まつり、山形大花火大会、日本一の芋煮会フェスティバル、樹氷まつり等) ○農産物を含む山形の「食」のブランド化 ○料亭和食文化の活用、「山形らしさ」を活かした食事メニューや土産品の開発促進 ○日本一の芋煮会フェスティバルを契機とした芋煮会文化の発信 ○観光レンタサイクルを活用した市街地観光コースの整備 ○歴史・文化的観光資源を活用した街歩き観光コースの整備 ○山形版DMOによる市内観光モデルルート、現地旅行プランの造成と販売の促進
<p>3. 周辺地域と連携した観光の推進 周辺地域と連携を行うことで本市への効果的な観光客誘致を図ります。</p> <p>《施策》 (1) 周辺地域との観光戦略の共有化 (2) 市外の観光地との連携による観光ルートの造成 (3) 周辺地域の主要な交通ターミナルとの移動手段の確保 (4) コンベンションの誘致支援 (5) 仙山交流による観光客誘致</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○山形版DMOによるマーケティングの実施及び周辺地域との観光戦略の策定 ○山形版DMOによる三市地域の観光資源を組み合わせた観光ルートの造成 ○広域的な観光振興団体との連携による観光誘客促進 ○山形版DMOによる観光地二次交通対策の検討及び交通事業者への働きかけ ○近隣自治体及び空港(山形空港、仙台空港)との連携による誘客推進 ○コンベンションの誘致支援と開催前後における観光への誘客拡大、山形国際交流プラザの利用拡大 ○「山形ふれあいマーケット」の仙台市での開催及び仙台市との連携 ○「仙台まるごとバス」のエリア拡大
<p>4. インバウンドの誘客推進 外国人観光客の様々なニーズ、習慣の違いに留意した観光情報・サービスの提供や、受入環境の整備を行うとともに、外国人の多様な嗜好・属性に対応した魅力的な旅行商品の造成や現地プロモーションによる誘客推進を図ります。</p> <p>《施策》 (1) 外国人をターゲットとした観光情報の発信 (2) 外国人の属性に応じた旅行商品の造成 (3) 外国人受入体制の整備 (4) 海外プロモーションによる誘客推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○山形版DMOによる観光情報の発信とデータの収集を一元的に行う情報システムの構築・運用 ○現地で情報拡散力のある外国人を招請しSNS等による観光情報の発信 ○ホストタウン認定を契機とした選手と地域住民との交流促進 ○多言語対応歴史ガイドマップアプリの導入 ○Wi-Fiの整備等による外国人観光客の受入促進 ○外国語版観光パンフレットの整備 ○外国語による観光案内板、誘導サインの整備 ○市内における免税、外貨両替、クレジット決済等の推進 ○外国人観光客対応マニュアル整備の支援 ○外国語に対応できる観光案内所の拡充 ○周辺自治体と連携した海外プロモーションの実施
<p>5. ニューツーリズムの推進 本市は豊かな自然、温泉、農産物、伝統工芸等の優れた地域資源を有しているほか、文化や歴史、スポーツイベントも豊富なことから、多様化する旅行者のニーズに即した本市ならではの観光コンテンツを提供し、ニューツーリズムの推進による観光振興を図ります。</p> <p>《施策》 (1) 農業や伝統工芸などの産業体験と組み合わせた観光の推進 (2) 芸術文化・歴史と組み合わせた観光の推進 (3) スポーツを組み合わせた観光の推進 (4) 医療ツーリズムの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○グリーンツーリズム推進協議会と連携した、農業体験ツアーの造成及び農家の受入体制整備(さくらんぼ、ぶどう、里芋等の収穫体験と観光の組み合わせ等) ○伝統工芸等ものづくり体験メニューを加えた着地型旅行商品の造成 ○酒造会社等工場産業工場等の見学ツアーの造成 ○山形国際ドキュメンタリー映画祭と宿泊及び市内観光をパッケージ化した滞在型・周遊型観光の推進 ○ロケ地マップの製作等による文化、自然などの地域資産を横断的に活用したクリエイティブツーリズムの確立及び推進 ○歴史的建造物を活用した体験型観光や、史実由来の場所を巡るツアーの造成 ○各種スポーツイベントと組み合わせた旅行商品の造成 ○「山形大学医学部先端医療国際交流推進協議会」及び山形版DMOとの連携による医療ツーリズム商品の造成